

スマート社会の実現に向けた体制強化について

～2024年3月以降の組織整備の概要～

2024年2月21日
東北電力株式会社

- 近年、お客さまのカーボンニュートラルニーズの多様化や地域課題の顕在化、DX化に向けた潮流の加速など事業環境が目まぐるしく変化しています。
- これらの変化を踏まえ、当社は2024年3月および4月に、お客さまや地域ニーズに迅速かつ柔軟にお応えしつつ、新たな価値を提供していくための体制強化を図ることとしました。

快適・安全・安心に暮らすことができる「スマート社会」の実現に貢献

お客さま・地域ニーズに迅速・柔軟にお応え

新たな事業創出による価値の提供

3つの体制強化

1

分散型再生可能エネルギーサービスの提案体制

4月1日～

2

お客さまニーズと地域課題の解決に向けた体制

3月1日～

3

DXによる新たな事業創出に向けた体制

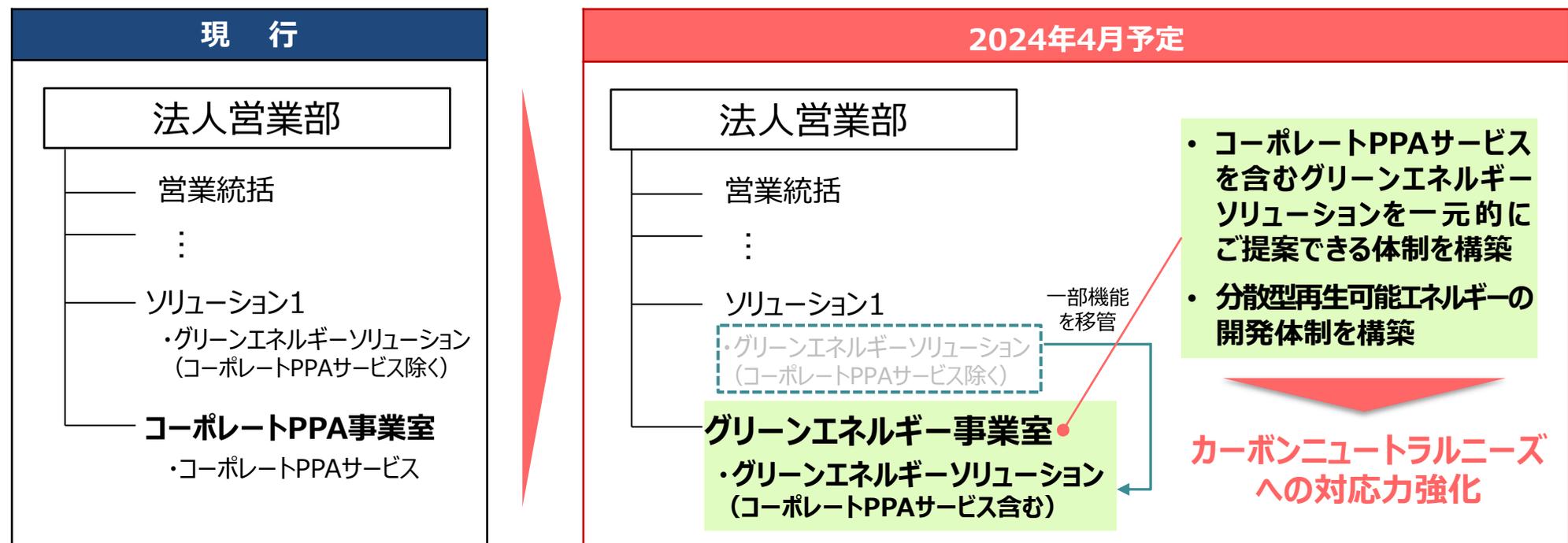
4月1日～

カーボンニュートラル
ニーズの多様化
(環境意識の高まり)

地域課題の顕在化
(人口減少、少子高齢化等の進行)

DX化の潮流加速
(AI等のデジタル技術の進展)

- 環境意識の高まりに伴う再エネ導入に向けたお客さまニーズにお応えするため、当社は、2022年12月に専任組織「コーポレートPPA事業室」を設置し、コーポレートPPAサービスの提供を進めてきています。
- こうした中、カーボンニュートラルニーズの多様化に、より迅速かつ柔軟にお応えしていくために、2024年4月に「グリーンエネルギー事業室」を設置し、分散型再生可能エネルギーに関するサービスを一元的にご提案できる体制を構築します。



グリーンエネルギー事業室のミッション

- ✓ 分散型再生可能エネルギーを活用した様々なソリューションを組み合わせでご提案し、東北・新潟地域をはじめとしたお客さまのCO2排出削減に取り組むことで、お客さまの多様化するニーズに応えるとともに、地域社会のカーボンニュートラル実現に貢献すること

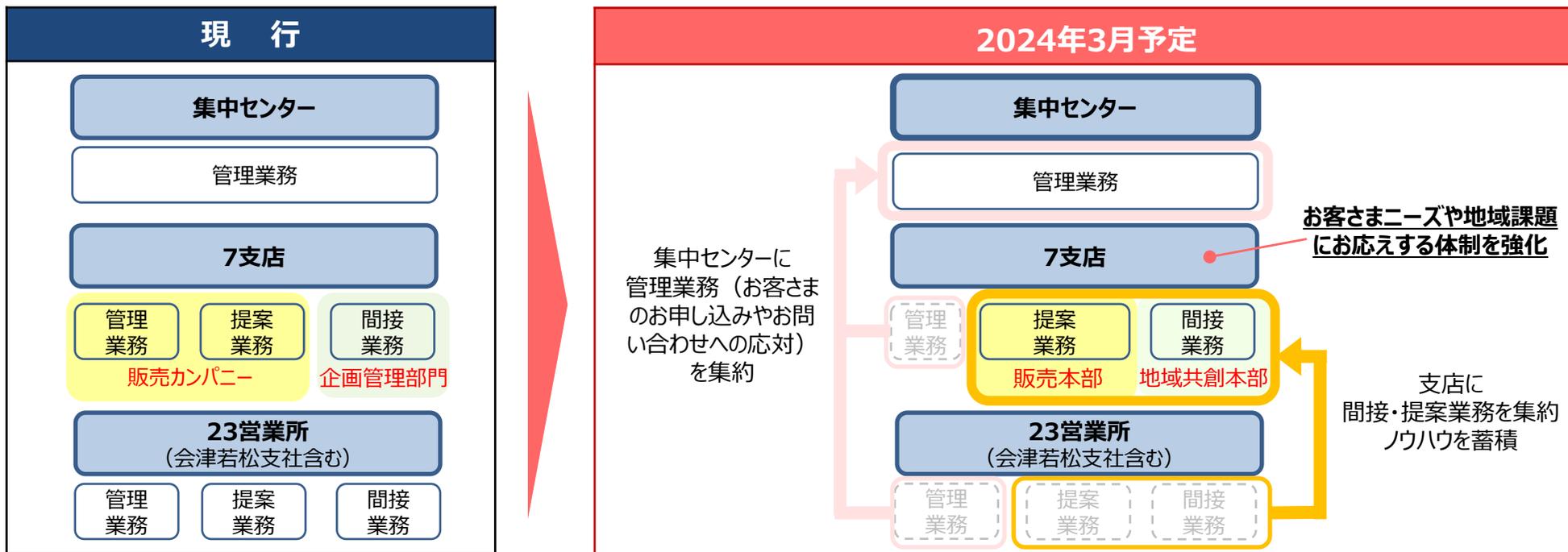
- 多様化するお客さまニーズを踏まえ、コーポレートPPAサービスをはじめとする様々な「グリーンエネルギーソリューション」を組み合わせることで最適なご提案をしていくことで、お客さまのカーボンニュートラル実現に貢献していきます。



お客さまに最適なサービスをご提案



- 2024年3月に、東北6県・新潟県の各支店を、「販売本部」と「地域共創本部」の2本部体制に再編・拠点化することでマンパワーとノウハウを集約し、お客様ニーズや地域課題により機動的かつ柔軟にお応えできる体制を構築するとともに、新たな事業機会を創出していきます。

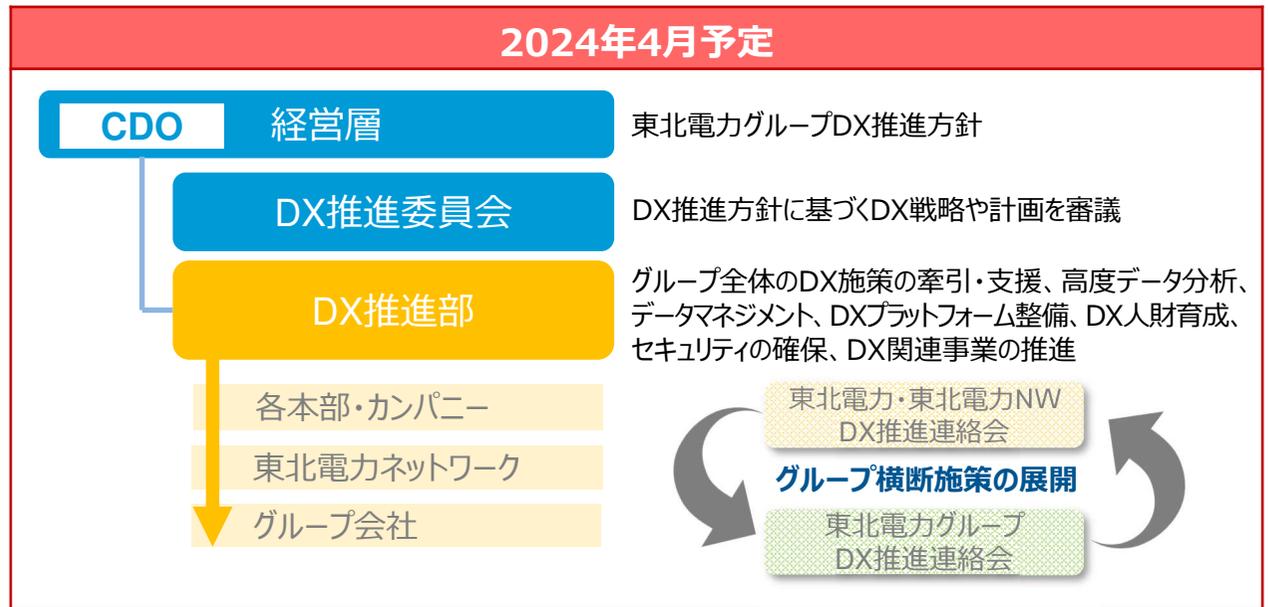
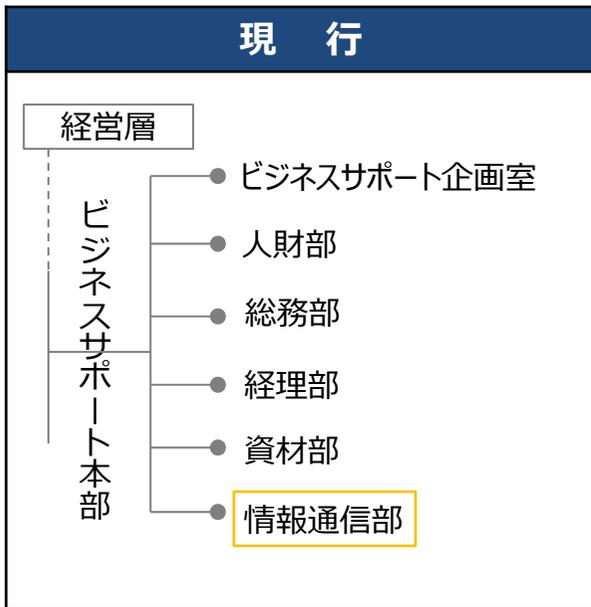


「販売本部」・「地域共創本部」のミッション

(販売本部) お客様ニーズを迅速に拾い上げ、機動的かつ柔軟に対応し、お客様満足度の向上を図ること
⇒**お客様に「より沿う」**

(地域共創本部) 地域の発展や課題解決に向け、地域の声を直接伺い、新たな付加価値の提供へつなげること
⇒**地域に「寄り添う」**

- 2023年9月に「東北電力グループDX推進方針」を策定のうえ、DXを重要なグループ戦略と位置付け、グループ全体でDXを進めています。
- DXに関する取り組みを加速し、お客さまに新たな価値を提供していくために、2024年4月に、CDO（チーフ・デジタル・オフィサー）を任命するとともに、経営層直轄組織として「DX推進部」を設置します。



DX推進部のミッション

- ✓ デジタル技術とデータを活用し、グループ全体で事業価値の向上を図るとともに、お客さま視点の新たなサービスを創出すること

- DX推進部が中心となり、グループ全体で、DX人財を育成しつつ、事業価値向上と経営効率化を進めるとともに、新規事業によるお客さまへのサービス拡大を実現していきます。

- グループ大のDXリテラシー教育の実施
- 組織横断的なアイデア創出の実施
- 早期のDX導入に向けた有効性評価

- お客さまの体験価値向上を図る新たなサービスの提供
- グループの強みを活かしたデータビジネス等の事業創出
- カーボンニュートラル等を切り口としたグループ内外の協業

